

活動報告

団 体 名	リズム学園はやきた子ども園
活 動 名	震災後の安平町民の心のケアのためのプレーパーク活動
活動期間	2019/04/06～2019/09/08
活動の成果	主に柱となった活動は、環境教育活動とアート活動。まず環境教育活動は、震災で崩れた森の姿を垣間見ながら、森の復活・再生を考えることを根底においた。季節ごとの森の様子をテーマに、間伐・風倒木処理の体験や、森の中の生き物探しおよび観察を行い、震災前と後の生態系の変化などについて伝える場となった。またアート活動は、プログラム意識で参加するよりも森の活動にのんびりと参加する参加者も多い中、子どもも大人も共に、自然に用意された材料（自然材料含む）で好きなものを作る活動から創作活動が広がった。申請当初に提出したテーマを各回の参加者状況に臨機応変に対応することで、参加者の内面的な所へアプローチする形となった。 成果は、まず来森者の増加（利用者数視点）として。当事業の活動を始める前までは、週1回の開催で住民への周知が薄かった。しかし、当事業を通して開催頻度が倍以上に増すことで相乗効果的に参加者が徐々に増えていった。また、活動の充実（来森者層の開拓および内容の充実）の点。始める前は、「自由遊び」が中心だった。従って、森の中での活動を親子で楽しむ姿で展開していた。この事業を通して、環境教育プログラムとしてのイベント打ち出しや、アート活動開催の打ち出し等、ある程度の「イベント」としての告知をすることで参加者が森に来る「動機づけ」になった。また、各種専門家を呼ぶことで、こちらの元々の「自由遊び」を根底にそれぞれが活動の工夫をしてくれ、「外発的動機づけ」から「内発的動機づけ」へと変化していった。
寄付者へのメッセージ	2018年9月の震災で子どもの遊び場が減ったこと、町民および近隣で被災した人たちの心には大きなキズが生まれたことは否めません。そんな中、子どもたちをはじめ、町民が少しでも森に足を運んでくれることで何か心のケアができないか・・・そう思っているときにこの助成金をいただくことができ、周知をはじめ、色々なアプローチで活動を展開する機会をいただくことができました。幸いにも、関わってくださる方々が皆協力的で、活動を進める上でたくさんの協力をいただくことができ、申請当初よりもはるかに充実した活動になったといっても過言ではございません。ご支援いただけたことにより、たくさんのつながりと、「日常」が保障される場所として町民には理解していただくことができました。 ここで生まれた「活力」を今後も継続していきたいと思っております。 本当に深く深く感謝申し上げます。

（活動のようす）

